有限責任中間法人 医薬品開発支援機構
APDD
Association for Promoting Drug Development

第2回APDDシンポジウム

ー我が国における早期探索臨床試験の夜明けを迎えてー

開催日：2008年3月13日（木）9:00より
主　催：医薬品開発支援機構（APDD）
会　場：共立薬科大学記念講堂（2 号館 4F）
事前登録費（2月26日・火まで）：一般 12000円　アカデミア・行政 8000円　（懇親会費：10000円）
※定員（400名）になり次第、登録を締め切りますので早めにご登録下さい。
当日登録費（2月27日・水以降）：一般 17000円　アカデミア・行政 10000円（懇親会費：10000円）
協　賛：日本薬物動態学会 JSSX　・共立薬科大学
組織委員長：APDD 池田敏彦
組織委員：JSSX・大塚峯三，放医研・栗原千絵子，東大・杉山雄一，共立薬大・諏訪俊男，金沢大・辻彰，理研・矢野恒夫，昭和薬大・山崎浩史，摂南大・山下伸二

時　間	講演者（予定）	タイトル（仮題）
9:00～9:10	APDD代表理事 高仲正	ご挨拶
9:10～9:20	厚生労働省 中垣俊郎	来賓挨拶
9:20～9:45	国立衛研 大野泰雄	マイクロドーズ臨床試験ガイドラインについて
9:45～10:10	厚生労働省 高江慎一	マイクロドーズ臨床試験におけるGMPについて
10:10～10:30	武田薬品工業 残華淳彦	^{14}C標識放射性化合物の取り扱いとGMP
10:30～10:50	アステラス製薬 矢嶋一賀	PET用核種標識放射性化合物の取り扱いとGMP
11:00～11:25	放医研 酒井一夫	放射線内部被曝評価 -最近の考え方-
11:25～11:50	放医研 栗原千絵子	マイクロドーズ臨床試験の倫理的・社会的意義
11:50～12:20	ガイドラインQ&A	
12:20～13:50	昼食およびランチョンセミナー	
13:50～14:15	理研神戸 矢野恒夫	医薬品開発の革新 -マイクロドーズ臨床試験-
14:15～14:40	放医研 須原哲也	創薬におけるPET研究の有用性
14:40～15:05	先端医療振興財団 千田道雄	PET多施設共同臨床試験の課題
15:20～15:45	理研神戸 渡辺恭良	分子イメージング研究による創薬・疾患診断の革新
15:45～16:10	JCLバイオアッセイ 戸塚善三郎	LC/MS/MSを用いたマイクロドーズ臨床試験 -高感度分析のポイント-
16:30～16:55	東京大学 杉山雄一	薬物動態IVIVEと日本版CREAM Studyの必要性
16:55～17:10	共立薬科大学 千葉康司	ブリッジング試験に見る民族的要因 -日本人の薬物動態の比較論的特徴-
17:10～17:30	昭和薬科大学 山崎浩史	薬物動態の種差・人種差 -日本人による薬物動態試験の重要性-
17:45～18:05	田辺三菱製薬 山田一麿呂	製薬企業がマイクロドーズ臨床試験に期待するもの
18:05～18:30	APDD 池田敏彦	マイクロドーズ臨床試験の効果的活用とAPDDの役割
18:50～20:50	懇親会 芝パークホテル	

参加登録：APDDホームページ（http://www.apdd-jp.org/index.html）からお申込み下さい。
事務局：（有）研究者サポートネットワーク 山崎　均
FAX：(048)851-5790　TEL：(048)851-5789　E-mail: yamazaki@sci-support.jp
〒338-0001 さいたま市中央区上落合 2-3-2 新都心ビジネス交流プラザ 710号室